

資源管理基礎調査（海洋環境） 地球温暖化バイ

清藤真樹

目的

青森県が策定した資源管理指針に基づく資源管理措置について、今後の検証に必要となるデータを収集するための海洋環境に関する調査を行う。

材料と方法

平成23年6月14日に東通村尻屋沖定置網に日油技研工業の自動観測ブイ（アクアモニター）を設置しており、水深1m、5m、10mの毎正時水温を観測した。また、平成25年5月14日には深浦町大戸瀬沖定置網に自動観測ブイを設置し、水深1m、10m、20mの毎時水温を観測している。

結果と考察

尻屋では、観測期間を通じて全層の月平均水温の値はほぼ一致した。月平均水温の最高は9月に記録し、0m、5m、10m層で各々22.8℃、22.8℃、22.7℃であった。大戸瀬では、観測開始直後の5月中旬から7月上旬までは層別の差が見られたが、それ以降はほぼ同じ水温で推移した。月平均水温の最高はいずれの層も8月に記録し、0m、10m、20m層で各々26.8℃、26.6℃、26.3℃であった（図1）。

尻屋における月平均水温と魚種の月別漁獲量の関係は、ミズダコ、スルメイカ、ババガレイで相関が高く、ミズダコ、スルメイカ、ババガレイでは各々14℃以下、13℃以上、14℃以下で漁獲が増加する傾向が見られた（表、図2）。

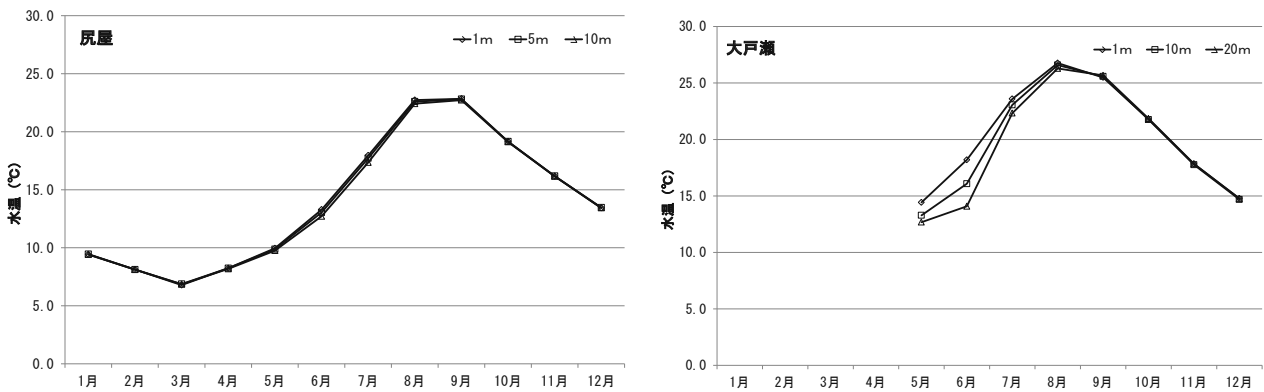


図1. 尻屋及び大戸瀬の月平均水温の推移.

表 尻屋における各層の月平均水温（℃）と漁獲量の相関

魚種名	相関係数 (R ²)		
	1m	5m	10m
ミズダコ	0.732	0.734	0.737
スルメイカ	0.633	0.627	0.618
ババガレイ	0.504	0.498	0.495
アイナメ	0.481	0.484	0.490
バショウカジキ	0.364	0.365	0.368
マトウダイ	0.348	0.346	0.343
チダイ	0.308	0.303	0.297
ケムシカジカ	0.295	0.293	0.293
ムシガレイ	0.275	0.275	0.278
サクラマス	0.273	0.271	0.269
マコガレイ	0.268	0.266	0.266
メイタガレイ	0.250	0.246	0.242

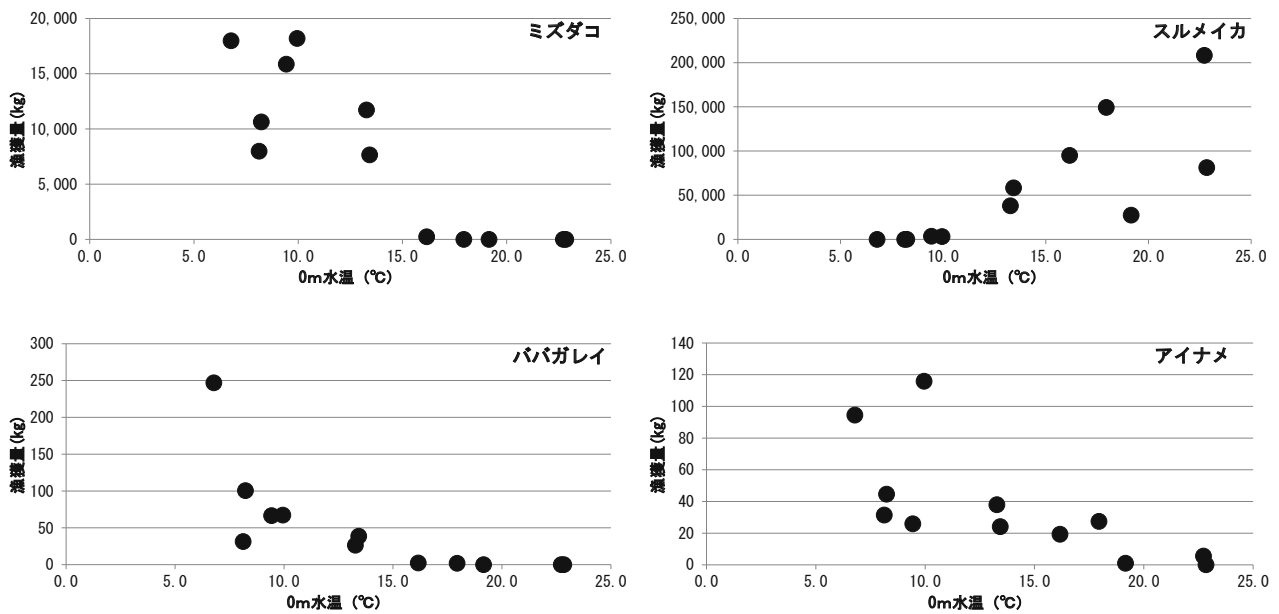


図2. 月別平均水温と月別漁獲量の関係.